

とき

vol.21

かずあき しょうへい
末永一祥君と森翔平君が
九州中学校陸上競技大会
で好成績

末永一祥君（今福中3年）と森翔平君（福島中1年）が、8月11日、12日に沖縄県で開催された九州中学校陸上競技大会に出場し、好成績を収めました。

2人は、7月28日、29日に県立総合運動公園陸上競技場（諫早市）で開催された「平成19年度県中学校総合体育大会陸上競技」に、男子共通110メートルハードル競技に末永君、男子1年100メートル競技に森君がそれぞれ出場し、共に2位に入賞。九州大会への出場権を獲得しました。

そして、九州内の強豪選手が出場した同大会は、悪天候のためタイムレースとなりましたが、末永君が11位（16・50秒）、森君が13位（12・69秒）と好成績を収めました。

末永君は、「大会当日は、天候は悪いし、他の選手も早そうに見えたので、とても緊張したけど、九州大会で走ることができてうれしかったです。今後、野球や陸上などのスポーツを頑張っていきたいです」と話し、森君は、「県大会で九州大会への出場が決まったときは『やったあ!』と喜びが爆発しました。九州大会当日は、天候が悪かったこともあり、本来の持ち味があまり発揮できませんでした。来年は11秒台で走り、中総体では200メートル・400メートルで2冠をとりたいです」と話してくれました。



写真左から、末永一祥君と森翔平君。九州大会が開催された沖縄県総合運動公園陸上競技場で。

太田君が水泳の講師に

市民や市職員などが講師を務める「まつうら出前講座」の子ども編が8月28日、御厨小学校プールで行われ、御厨中1年の太田快陸君が「たのしい水泳」講座の講師を務めました。

太田君は、5歳のころから水泳を始め、全国大会に出場するなどしています。

この日受講したのは、御厨小の学童保育に通う御厨児童クラブ（田中まゆみ代表）の20人。太田君は、ビート板を使つての泳ぎ方から、息継ぎの仕方、クロールの泳ぎ方などを伝授しました。

太田君は「水に親しみを持ち、楽しんで泳ぐことが大切です。上手になりたいという意識を持って泳いでもらいたいです」と話していました。



また、太田君の妹、瑠里菜さん（星鹿小5年）も一緒に講師を務め、1、2年生に指導していました。

無病息災を祈願し奉納相撲

鷹島町の宮地嶽神社で9月14日、無病息災を祈願した奉納相撲大会が行われました。

阿翁地区（金井田豊秀区長）の主催で、同神社の例祭に合わせて毎年開催されています。

この日は、地区の子ども16人と青年団から12人が土俵入り。力のこもった取組に、観客からは盛んな声援が送られていました。金井田区長は「地域の伝統文化を後世に継承していきたいです」と話していました。

また、県の無形民俗文化財に指定されている「島踊」も奉納されました。



加藤フジエさんと里元スギオさんが100歳

加藤フジエさん（鷹島・殿ノ浦）が9月4日、入院中の口石病院（伊万里市）で100歳の誕生日を迎えました。

加藤さんは、若いころは農業と漁業に従事。高齢になってからは地区の人たちとゲートボールに励んでいました。現在は、子ども6人、孫13人、ひ孫が26人。最近、院内で他の患者とテレビを見たり会話を楽しんだりして過ごしており、何でもしつかり食べることが健康の秘けつとのこと。この日は、同病院で家族や施設の人から祝福を受け、友広市長からお祝



いの言葉や花束を受けました。

里元スギオさん（志佐・里2）が9月18日、自宅で100歳の誕生日を迎えました。

里元さんは、子ども6人、孫18人、ひ孫が15人、やしゃ孫が3人おり、現在は、孫嫁とその娘さんの3人で暮らしています。若いころは、農業に従事され、現在は自宅で新聞を読んだり、愛光園のデイサービスでカラオケを楽しんだりしています。何にでも興味を持ち、好き嫌がなく何でも食べることが健康の秘けつとのこと。

この日、友広市長からお祝いの言葉や花束を受け取った里元さんは、老眼鏡も使わずに祝状を声を出して読み上げて喜んでいました。

